

移動市長室

通算69回目となる移動市長室を、5月26日(金)に開催しました。JA筑紫ブロッコリー部会およびアスパラガス部会と懇談を行い、13人の出席がありました。●問い合わせ先 秘書広報課



両部会、長年にわたり生産に取り組む

ブロッコリー部会は、昭和54年に設立、現在の会員が23人(市内22人、市外1人)、市内約12ヘクタールにおいて生産を行っています。アスパラガス部会は、平成11年に設立、現在の会員が15人(市内11人、市外4人)、市内約2・2ヘクタールにおいて生産を行い、新たに6次産業化にも取り組んでいます。

懇談では、それぞれから部会の概要をはじめ、栽培の流れ、活動内容などについて説明を受けました。

ブロッコリー部会は、昭和54年に設立したブロッコリーを集荷場に集めた後、共同で選別し、共同で出荷する共選・共販の形態をとっており、主に福岡大同青果、久留米青果、朝倉青果などに出荷しています。種まきを夏場あるいは冬場に行うというようにブロッコリーには数多くの品種があり、その年に栽培する面積や品種、部会での目標を付検討会で確認していること、育苗現地検討会において全員で部会員の苗を見て回り、進捗状況の確認や他の育苗状況を勉強し、技術の向上を図っていること、市場視察や生産者研修会により高品質出荷を目指していること、JAのふるさとまつりに出店してPR

技術、品質の向上のため研修を重ねる

JA筑紫
ブロッコリー部会・アスパラガス部会
— 農業収入の増加に向けて —



活動をしていること、また、高齢化・代替わりによる作付面積の減少や異常気象による作付不良の増加といった課題があるものの、新規部会員の加入促進や品種の選定などでさらなる発展を目指したいとの報告がありました。

収穫量の伸びにより部会賞を受賞

アスパラガス部会は、同様に共選・共販の形態をとり、主に福岡大同青果、ゆめ畑、学校給食などに出荷しています。アスパラガスは、春ごろハウス内に苗を定植したら、2年目から収穫ができるようになり、春・夏に収穫、冬を越すというサイクルで10年以上、収穫が可能であること、高品質出荷へ改善していくため出荷規格表に基づき目合わせ会を行っていること、近年、面積・収量・売り上げは増加しており、

昨年は福岡県の共励会において総収量伸び率優秀部会賞を受賞したという説明がありました。

加工により所得向上を目指す

収穫量の2割程度発生してしまう市場出荷以外のものをどう活用するかという課題に対しては、ゆめ畑や食事処との協力で安い価格で提供し普及を図ることや業者と連携してアスパラガスを粉末として加工することなどにより生産者の所得向上を目指していきたいとの報告がありました。

そして、アスパラガスの粉末を使ったパンを試食した後、いろいろな野菜がある中で、ブロッコリー・アスパラガスを選んだ理由やその魅力、共選・共販に至ったきっかけなどについて、また、活動歴の浅い部会員には加入のきっかけや思いなどを話してもらい、議論を深めることができました。

懇談での意見は、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

・私たちがやっていることを知っていたのでよかったです。地域の農家が頑張っていることを聞いていただき、ありがたく感じています。

・めったにない機会です、緊張しました。他の部会の取り組みや意見も聞くことができ、刺激を受けましたので、また頑張ろうと思いました。



藤田市長の一言

ブロッコリーとアスパラガスの部会の皆様方から懇切丁寧にそれぞれの努力、また成果、いろいろとお話をたくさん聞かせていただいて、感謝申し上げます。今、後継者問題がありますけれども、やればやるほど労力を少なくして成果をつくり上げていく楽しみとそれに伴う収益を求めてやれるというようなお話は、非常に参考になりました。ご苦労もあるだろうと思いますが、前向きに農業を進めていく努力は、後継者をつ

くり、また、農業の将来に夢を与えてもらえるものだろうと感じました。

飾っていただいたアスパラガスとパンがおいしかったことは、忘れられない思い出となりました。皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

